

大和市子ども読書活動推進会議 会議記録 (要点筆記)

会議名	平成29年度 第2回 大和市子ども読書活動推進会議
開催日時	平成29年10月6日(金) 15:30~17:00
開催場所	大和市文化創造拠点シリウス6階 601講習室
出席状況	出席委員 <推進会議委員> 伏見暢子 阿部きふゆ 川村佳織 鶴巻宏子 田野康志 伊禮利奈 松村佐和子 小林寿子 佐藤明子 中園加奈 佐々木雅子 藤田 莉映子 (順不同・敬称略)
	欠席委員 <推進会議委員> 今宮智子 古木幸一 (順不同・敬称略)
	市側出席者 事務局職員(2名)
	図書館出席者 <指定管理者>(1名)
	傍聴人人数 0人
公開非公開の状況	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
審議又は検討経過及び結果	1 あいさつ ・委員交代の報告(自己紹介) 2 議事 (1) こども読書推進の取組について ◎事務局と指定管理者から、資料1により平成29年度前半に実施したこども読書推進の取組について報告。 質疑・意見他 会) ご説明いただいた中で感想、意見があれば。 委) 1日図書館員の対象年齢はいくつか。 指) 5~6年生を対象にしている。 委) 学校貸出、団体貸出が大きく増えているが、何か特別な取組はしたのか。 指) 確かに貸出も団体登録も増えているが、特に思い当たる取組はない。シリウスという場所への注目の高まりから、学校貸出、団体貸出が伸びているのだろう。 会) 学校の先生方は、実際に学校貸出は利用しているか。 委) 小学校では、調べ学習等のために使う資料が学校にある資料だけでは足りない。そういった時に学校貸出を利用している。 会) 中学校ではどうか。 委) 中学校では、国語の授業で同じ本が何十冊も必要な時に学校貸出を利用する。 会) 世界の絵本について、きれいに飾られてあり、対象の国の本があるというだけではなく色々な交流ができて良いと思った。 会) わくわくプランも着々と進んでいるということで、これからも意見を活かしながらか進めるということで良いか。 →了承 (2) こども読書わくわくプランの進捗評価手法について

◎事務局より、資料2をもとに説明し、確認事項に対する意見確認。

質疑・意見他

【確認事項1】

最終年度における計画本体の総括的な評価と毎年度実施する実施計画の進捗状況評価の位置づけを明確に区別すべきか、について。

会) 年度ごとに確認して最後の年度でまとめる、ということでどうかとご説明をいただいたが、感想、意見等はあるか。

委) 運営を良くしていくためには毎年確認、修正をし、最終的に全体的な評価が必要だと思う。もし具体的な数字が分かるような場合は、数字も記載した方が、次年度にもつながり、説得力もあると思う。

委) 新しい取組への反応を把握し、来年度に生かしていくことでより良い図書館になると思う。中高生(YA)が取り組んでくれないという課題もあるが、課題克服のためにも、問題に向き合う場となる毎年の確認作業は必要だと思う。

【確認事項2】

計画期間(平成29年度から平成33年度)の中間年度(平成31年度)に中間評価として、評価指標について調査を行うべきか

委) それは1年ごとの評価とは違うのか。

事) 1年ごとに行う評価は行動の確認で、中間評価の評価指標はデータが取りにくい大規模調査等が伴う確認となる。わくわくプラン策定の際には、平成27年度末に調査をしている。

事) 実際、読書が好きなこどもの割合はアンケートで聞いてみないと分からない。計画期間が終了する5年後も調査はするが、中間年度における評価が必要かどうかということ。

委) 先生やボランティアさん等の大人とは違い、子どもは、5年前とは大きく環境も変わっているので比較にはならないと思う。それに、子どもも真面目に答えているかということそうではないので、単発的な答えになってしまうと思う。

事) 子どもに関わる大人から見たこどもの変化を調査した方が安定した調査になって良いのでは、ということか。

委) それも良いと思うが、子どもはすぐに成長してしまうので1年ごとの調査の方が良いと思う。

委) 子どもを対象とする事柄は大抵3年で入れ替わる。今の時代はもっと早く入れ替わると言われているので、細かく継続的に行う調査の方が良いと思う。

会) 大規模な調査を毎年するのではなく、こまめに状況を把握するという事だ。

【確認事項3】

毎年度の進捗状況評価を行うにあたり、今回のような経過報告を行うか、について。

委) シリウスに来て、何のイベントをしているか分からないので、経過報告よりも、事前にイベント実施の情報を知りたい。

事) 夏休み期間はイベントが多いので、夏休み前に企画を報告したほうが良い、ということか。

委) 評価する立場としては、事前に開催の情報を知り、実際に現場に見に行けた方が良いと思うので事前に知りたい。

事) その様にしたい。

【確認事項4】

毎年度の進捗状況評価の評価結果の表記を変更するか(例:A→S、B→Aに変更)、について。

会) このことについては、このとおりに変更するというのでよいか。

→了承

会) これで、確認事項は終了だが、次回(第3回)会議でどのようにするのかを報告するというのでよいか。

事) 次回、検討結果を報告したい。

(3) その他について

◎指定管理者から、新しく作成したブックリストの紹介。

質疑・意見他

特になし。

以上